



2日目 11月24日(土)

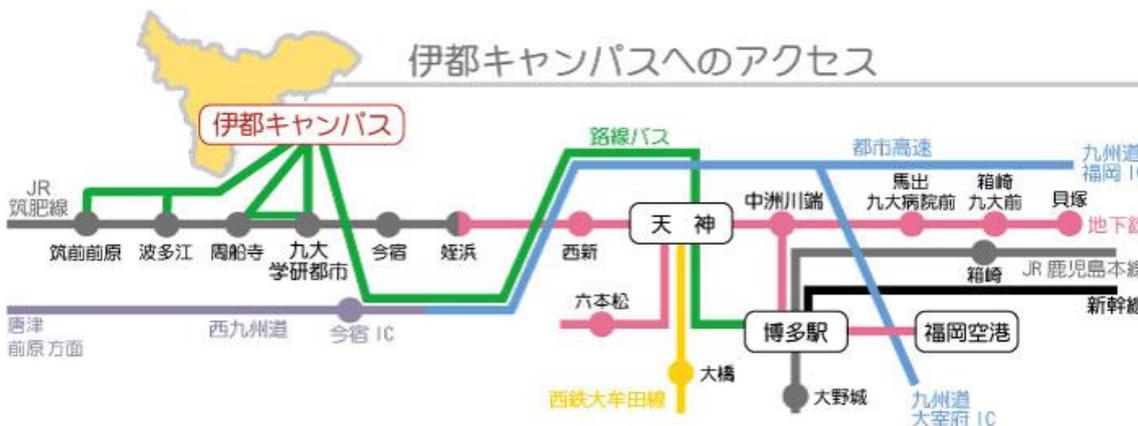
	会場	時間																																						
		8			9			10			11			12			13			14			15			16			17			18			19					
24日 (土)	センター 2号館・ 2階	2214	受付																																					
		2215	クローク・事務局																																					
		2201		TS-05 ニホンジカ広 域管理		TS-09 放棄果樹対策			青年部会幹 事会																															
		2202		TS-06 集落の持続可 能性		TS-10 人口縮小時代 における農山村			行政部会総 会																															
		2216		TS-07 野生動物管理 の迷走		TS-11 ロードキルデー タ																																		
		2209・2210		ポスター発表					コアタイム		ポスター発表																													
		2203		TS-08 生物文化多様 性と地域資源利用		TS-12 「動物アトラクシ ョン」とICT																																		
		2308(3階)																																						
		2211・2212		企業展示・休憩室																																				
		2213		託児所																																				
稲盛財 団記念 館	稲盛ホール																																							
生協 食堂	COOP Big Dining																																							

3日目 11月25日(日)

	会場	時間																														
		8				9				10				11				12				13				14				15		
25日 (日)	センター 2号館 ・ 2階	2214	受付																													
		2215	クローク・事務局																													
		2201		TS-13 対馬のシカ・イ ノシン																						TS-16 トキの野生復帰 事業						
		2202		TS-14 知の生産・共 有・活用																						TS-17 リモセンによる シカ個体数推定						
		2216		TS-15 学生狩猟団体																						TS-18 ジビエの経営学						
		2209・2210		ポスター発表																												
		2211・2212		企業展示・休憩室																												
		2213		託児所																												

ショートトリップ・  
エクスカージョン

●会場アクセス



・電車・バス利用

福岡空港、天神、博多からは、福岡市営地下鉄と JR 筑肥線を利用して「九大学研都市駅」に行き、そこから昭和バスを利用し、「九大ビッグオレンジ前」で下車するのが便利です。伊都キャンパスに向かう昭和バスは、①「周船寺経由」②「横浜西経由」③「学園通経由・理系」④「元岡（学園通）経由」⑤「学園通経由・文系」がありますが、⑤以外、すべて「九大ビッグオレンジ前」に停車します。そのなかでも、①②③が最短です。

また、天神、博多からは、そのほか、電車を利用せずに、西鉄バスのみで行くことも可能です。

\* 福岡空港・博多・天神→(地下鉄空港線)→「姪浜駅」(JR 筑肥線へ乗換)→「九大学研都市駅」→昭和バス「九大伊都キャンパス」行き→「九大ビッグオレンジ前」で下車

※西唐津行き、筑前前原行きに乗車した場合は、姪浜駅での乗り換えは不要。

\* 博多・天神→西鉄バス「九大総合グラウンド」行きなど→「九大ビッグオレンジ前」下車

・各日のテーマセッションに間に合うバス情報

大会1日目 (15:15~)

昭和バス：(九大学研都市駅) 14:24→(九大ビッグオレンジ前) 14:45

西鉄バス：(博多駅前A) 13:49→(天神ソラリアステージ前) 14:00→(九大ビッグオレンジ) 14:43

大会2日目 (9:00~)

昭和バス：(九大学研都市駅) 8:22→(九大ビッグオレンジ前) 8:33

西鉄バス：(博多駅前A) 7:51→(天神ソラリアステージ前) 8:00→(九大ビッグオレンジ) 8:40

大会3日目 (9:00~)

昭和バス：(九大学研都市駅) 8:22→(九大ビッグオレンジ前) 8:33

西鉄バス：(博多駅前A) 7:52→(天神ソラリアステージ前) 8:00→(九大ビッグオレンジ) 14:43

・大会2日目の懇親会 (~20:30) 後のバス情報

昭和バス (九大ビッグオレンジ前→九大学研都市駅行き)

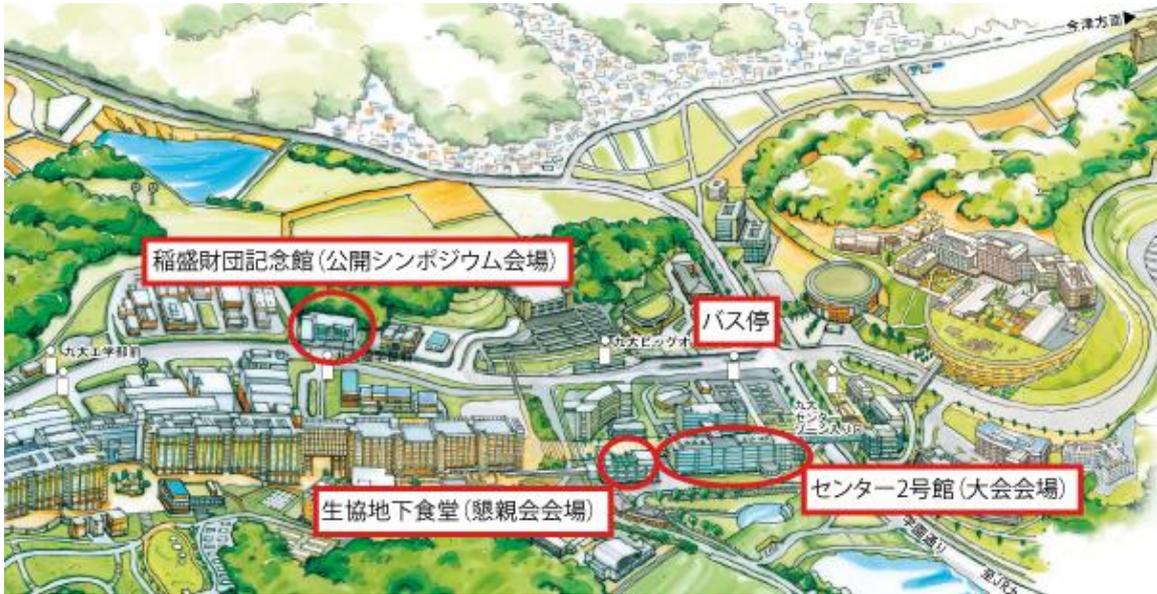
: 20:55、21:04、21:16、21:40、21:58、22:00、22:26 (最終)

西鉄バス (九大ビッグオレンジ前→天神・博多駅) : 20:31 (最終)

・自動車利用

守衛所で入構手続きをしてください。学会参加の旨を伝えると入構料金は免除されます。  
ナビには「福岡市西区元岡744」と入力してください。駐車場は、立体駐車場などをご利用  
ください。詳細は守衛所でお尋ねください。

● キャンパスマップ



●バス停から受付までの道順



「九大ビッグオレンジ前」で下車



下車してそのまま真っすぐ建物方向へ



右手にセンター1号館を見ながら、さらに前進



正面に出てくるのがセンター2号館（大会会場）



右に進路を変え、階段を上る



階段を上り、左手に建物への入り口があります。階段を少し上ります。



右手に受付があります (2214 教室)

●フロアマップ



● 飲食マップ



地図 番号	名前	ジャンル	23日	24日	25日
1	生協食堂	定食など	11:00~ 14:30	11:00~14:30 17:00-20:00	11:00~ 14:30
2	イトリーイト	イタリアン	11:00~15:00 (LO14:30)		休み
3	天天	中華	休み	11:30~16:00	休み
4	まる勝	ラーメン	11:00~17:00 スープがなくなり次第終了		
5	モスバーガー	ファストフード	10:00~15:00 (LO14:30)		
6	一番うどん	うどん	11:00~20:00		
7	エスターテ・ ブルー	イタリアン	11:00~15:00 17:00~21:00		休み
8	ビバーチェ 食堂	定食	11:30~15:00(L.O.14:30) 18:00~22:00(L.O.21:30)		
9	皎皎(こうこう)舎	売店	10:00~ 17:00	8:00~19:00	10:00~ 17:00
10	ファミリーマート	コンビニ	24時間営業		

●参加者へのご案内

公開シンポジウム、懇親会、総会以外の会場は、すべてセンター2号館2階です。

詳細は、以下をご覧ください。

1) 受付

場所：センター2号館2階 2214

日時：11月23日 10:30～19:00

11月24日 8:00～18:30

11月25日 8:00～12:15

2) 大会事務局

場所：センター2号館2階 2215

日時：11月23日 10:30～19:00

11月24日 8:00～18:30

11月25日 8:00～12:15

3) クローク

場所：センター2号館2階 2215

日時：11月23日 10:30～19:00

11月24日 8:00～18:30

11月25日 8:00～12:15

4) 企業展示・休憩室

場所：センター2号館2階 2211・2212

日時：11月23日 12:30～18:30

11月24日 9:00～18:30

11月25日 9:00～12:15

5) 託児室

場所：センター2号館2階 2213

日時：11月23日 12:30～18:30

11月24日 9:00～18:30

11月25日 9:00～12:15

6) 各種委員会・部会

・フォーラム誌編集委員会：11月23日（13:30～15:00）センター2号館2階 2202

・学会誌編集委員会：11月23日（13:30～15:00）センター2号館2階 2201

- ・ 行政部会幹事会：11 月 23 日（12:30～13:30） センター2号館2階2202
- ・ 青年部会幹事会：11 月 23 日（12:30～13:30） センター2号館2階2201
- ・ 理事会：11 月 23 日（15:15～16:45） センター2号館2階2201
- ・ 青年部会総会：11 月 24 日（13:30～14:00） センター2号館2階2201
- ・ 行政部会総会：11 月 24 日（13:30～14:00） センター2号館2階2202

#### 7) 総会

場所：センター2号館 3階 2308

日時：11 月 24 日 14:00～15:00

#### 8) 公開シンポジウム「屋久島における人と自然の共存」

場所：稲盛財団記念館 稲盛ホール

日時：11 月 24 日 15:15～18:15

#### 9) 懇親会

場所：生協地下食堂 Coop Big Dinning

日時：11 月 24 日 18:30～20:30

#### 10) その他

- ・ インターネット環境の提供を予定しております。また、Eduroam も利用できます。
- ・ 大学内は基本的に禁煙ですので、喫煙は所定の場所をお願いします。
- ・ 伊都キャンパス周辺には、宿泊施設はほとんどありません。大会日程は三連休と重なっているため、宿泊施設がすでに混みあっています。インターネットの予約サイトや、別紙の西鉄旅行からの宿泊申込案内を通じて早めの予約・確保をお願いいたします。

## ●発表者へのご案内

本大会の研究発表は、テーマセッションとポスター発表で行なわれます。発表時間や場所についてはスケジュールやプログラムをご確認ください。

### 1) テーマセッション

企画者は時間厳守でお願いします。

会場にはスクリーンとプロジェクターが用意されていますが、パソコンやポインターなどは企画者側でご用意ください。プロジェクターとは、HDMI と VGA 端子で接続できます。Mac との接続は Mini Display port と VGA 変換アダプタを用意しておりますが、USB-C との変換アダプタはご持参ください。機材操作や司会進行、後片付けは企画者が責任を持って行なってください。なお、不明な点や機器の不具合などについては大会事務局かスタッフまでお知らせください。

場所：センター2号館2階 2201、2202、2203、2216

日時：11月23日 15:15～18:30

11月24日 9:00～10:30 10:45～12:15

11月25日 9:00～10:30 10:45～12:15

### 2) ポスター発表

・掲示時間：掲示時間と場所はプログラムをご確認ください。発表者は24日の11:00までに掲示を終えてください。また、ポスターの撤去は25日12:15までに終えてください。残っているポスターは大会事務局が撤去・廃棄します。

・掲示方法：縦180cm、横90cmのパネルにポスター番号が記載されていますので、要旨集に記載されているポスター番号と同じ場所にポスターを掲示してください。掲示用の画鋲とテープは事務局で用意します。

・ポスター賞：ポスター賞に応募された発表については、第24回大会の選考委員による審査がありますので、コアタイムには必ず発表をしてください。ポスター賞の受賞者は11月24日の懇親会で発表し、授賞式を行ないます。

場所：センター2号館2階 2209・2210

日時：11月23日 12:30～18:30

11月24日 9:00～18:15 (コアタイム 12:30～13:30)

11月25日 9:00～12:15

●公開シンポジウム 「屋久島における人と自然の共存」

人間は自然の一員であり、人間と自然との共存を図っていく必要がある。しかし、近年のシカやイノシシなどの個体数増加・分布域の拡大によって、人間と野生生物の間の軋轢が拡大している。野生生物の「保護」と「管理」の両立を図りながら、人間と野生生物の共存を進めていくことが強く求められている。

屋久島は 1993 年に世界自然遺産地域に登録された自然豊かな山岳島である。屋久島の人々は昔から屋久島の自然資源を使いつつ、人間と自然のバランスを取りながら生活してきた。現在、その豊かな自然は重要な観光資源としても活用されている。しかし、ヤクシカが増加したことによる農林業被害や下層植生の減少などの生物多様性に対する影響が生じており、その対策として個体数調整も行われており、人と自然の関わり方が絶えず問われている現場でもある。

そのような中で、屋久島の自然に触れながら理解を図り、人と自然の共存を考えられている立場の異なる皆様に集まっていただき、自然に相対する視点から屋久島における人と自然の共存を考えていきたい。

日時：2018 年 11 月 24 日（土）15:15～18:15

場所：九州大学・伊都キャンパス（福岡市西区元岡 744）

稲盛財団記念館 稲盛ホール

プログラム

- |             |  |
|-------------|--|
| 15:15~15:20 | 開会の挨拶<br>矢原徹一（九州大学理学研究院、大会長）                                   |
| 15:20~15:25 | 趣旨説明<br>細谷忠嗣（九州大学持続可能な社会のための決断科学センター）                          |
| 15:25~16:10 | 基調講演 1<br>「一資源としての屋久島、利用と保全の葛藤のはざままで」<br>手塚賢至（屋久島照葉樹林ネットワーク代表） |
| 16:10~16:55 | 基調講演 2<br>「屋久島におけるヤクシカ対策について」<br>柘植規江（環境省九州地方環境事務所屋久島自然保護官事務所） |
| 16:55~17:40 | 基調講演 3<br>「ヤクシカと森の共存を支える人間の役割」<br>矢原徹一（九州大学理学研究院）              |
| 17:40~17:50 | 休憩   |
| 17:50~18:15 | 総合討論（司会進行：細谷忠嗣）  |

●テーマセッション

・23日15:15～16:30

TS-01 「奄美・琉球の絶滅危惧種保全」

企画者：城ヶ原貴通 場所：2216

・23日16:45～18:30

TS-02 「都市に侵入する野生動物に対応する体制作りを考える Part II」

企画者：松金知香・池田敬・國永尚稔・生島詩織 場所：2201

TS-03 「ネコ問題をとりにまく問題 –特にネコの概念的分類について–」

企画者：長嶺隆・諸坂佐利 場所：2202

TS-04 「九州北西部の水田・水路の生物多様性と農業の共生」

企画者：草刈秀紀 場所：2216

・24日9:00～10:30

TS-05 「ニホンジカの広域管理システムを考える」

企画者：梶光一 場所：2201

TS-06 「集落の持続性を考える：人口減少下での生物多様性保全と地域福祉の両立」

企画者：久保雄広 場所：2202

TS-07 「なぜ野生動物の管理は迷走するのか その2 ～民間の目から見たシステム～」

企画者：森元萌弥 場所：2216

TS-08 「生物文化多様性のフレームワークによる地域資源の高度利用政策」

企画者：新広昭 場所：2203

・24日10:45～12:15

TS-09 「野生動物との軋轢解消のための地域主体の放棄果樹対策」

企画者：清野未恵子 場所：2201

TS-10 「人口縮小化時代における農山村の行方」

企画者：八代田千鶴・鈴木正嗣 場所：2202

TS-11 「『野生生物と交通』に関する話題—生きるべきロードキルデータ」

企画者：浅利裕伸 場所：2216

TS-12 「国立公園における「動物アトラクション」に対するICTの影響と課題についての議論」企画者：敷田麻実 場所：2203

・25日9:00～10:30

TS-13 「対馬のイノシシ・シカ対策～国・県・市・民間の立場からの取り組みと連携を考える」企画者：齊藤ももこ 場所：2201

TS-14 「『野生生物と社会』の知は誰のものか？ーオープンサイエンス時代の知の生産・共有・活用のあり方ー」 企画者：富田涼都 場所：2202

TS-15 「『学生狩猟団体の誕生と未来』を読み解く 新たな捕獲の担い手確保における展望と課題」 企画者：中村大輔 場所：2216

・ 25日 10：45～12：15

TS-16 「トキの事例から野生復帰事業を考える～保護と管理のはざままで～」

企画者：満尾世志人 場所：2201

TS-17 「地上・リモートセンシングによる尾瀬ヶ原湿原におけるシカ個体数推定手法の開発」 企画者：奥村忠誠 場所：2202

TS-18 「ジビエの経営学～捕獲個体利活用事業の経営評価～」

企画者：山端 直人 場所：2216

●ポスター発表

番号	タイトル	発表者等
1	新規分布地域におけるニホンジカの個体群構成	横山 実咲・小林 春香・遠山 泰・千本木 洋介・奥田 圭・梶 光一
2	ICT 大型捕獲檻を配備した地域のニホンジカの SPUE と農業被害程度の推移	鬼頭 敦史・山端 直人
3	シカ捕獲個体埋設の時期と深度が土壌水の特性に及ぼす影響	古澤 仁美・八代田 千鶴・横田 勉・高橋 一英
4	野生ニホンジカの生息地植生とルーメンVFA	時田 昇臣・嶋 藍子・佐藤 颯人
5	石狩管内におけるエゾシカの生息状況及び被害と捕獲等対策の実態	社本 麗南・伊吾田 宏正・赤坂 猛・中谷 祥子
6	新規分布地域におけるニホンジカの季節移動	小林 春香・宇野 莊春・千本木 洋介・横山 実咲・遠山 泰・奥田 圭・梶 光一
7	継続提示した超音波に対するニホンジカの行動	堂山 宗一郎・石川 圭介・上田 弘則・江口 祐輔
8	ニホンジカの複数頭埋設が土壌水成分に及ぼす影響	八代田 千鶴・古澤 仁美
9	農地でのニホンジカ集中捕獲後における低密度状態維持のための捕獲手法の検討	福本 浩士・鬼頭 敦史・山端 直人
10	ニホンジカの日撃情報収集システム「シカ情報マップ」の現状と課題	立脇 隆文・江口 則和・釜田 淳志・石田 朗・栗田 悟・寺田 行一・早川 雅人・佐藤 亮介・高橋 啓・岡輝 樹
11	八溝山系イノシシ個体群におけるメスの繁殖特性について	小寺 祐二
12	千葉県南房総市におけるイノシシの捕獲頭数と水稻被害発生の関係	松村 広貴・大谷 徹・河名 利幸
13	農業共済被害データと圃場踏査調査から見たイノシシ水稻被害圃場の特性	石川 圭介・堂山 宗一郎・上田 弘則・江口 祐輔
14	岐阜市金華山のイノシシに関するアンケート調査を通じたリスク分析	國永 尚稔・池田 敬・生島 詩織・鈴木 嵩彬・鈴木 正嗣
15	集落組織による ICT を用いたイノシシの捕獲とその体制構築	澤田 誠吾・静野 誠子・小沼 仁美
16	硫黄を有効成分としたカモシカ忌避剤の開発	柳澤 賢一・廣田 智美・西岡 泰

	発	久・和合 武志・小野 太地・猪野 正明
17	行政アンケートをニホンザルの保護管理にどう生かすか？	江成 はるか・江成 広斗
18	アンケート調査によるヒグマ人身事故防止に向けた普及啓発の評価と課題	近藤 麻実
19	知床半島における人に対するヒグマの反応の長期的な変化	山中 正実・新藤 薫
20	神奈川県箱根町南部におけるツキノワグマの初確認	關 義和・鈴木 貴大
21	人間活動が同所的に生息する中大型イヌ科動物の活動性に与える影響	角田 裕志・Stanislava Peeva・Evgeiny Raichev・伊藤 海里・金子 弥生
22	都会のキツネはスレている？	池田 貴子
23	ツシマヤマネコ交通事故保護個体の追跡事例	沼倉 真帆・山本 以智人
24	ネズミはオーバースを利用する？	浅利 裕伸・中園 美紀・丸山 立一・厚芝 源太郎・厚芝 穂菜美
25	降雨に伴うヤマネの活動パターンの変化	鈴木 圭・安藤 元一
26	DNA 分析による洞窟性コウモリの種判別について	中村 圭太・山石 海斗・白子 智康・松村 弘・永井 靖弘・村田 裕
27	有害鳥獣対策専門員の業務実績 - 島根県益田市役所における事例	吉田 洋・林 進
28	自動匂い発生装置を用いた鳥獣害対策の検討	佐々 文洋・楊 中元・副田 貴明・安田 章人・細谷 忠嗣・大橋 二大・吉田 由紀・犬童 拓也・林 健司
29	丹沢山麓地域における獣害担当行政部署の課題	安藤 元一・松村 健汰
30	野生動物保護管理専門職の現場教育の可能性-その4	中川 元・梶 光一・敷田 麻実・大泰司 紀之・田中 俊次
31	電圧の常時モニタリングを利用した電気柵管理の改善事例	末松 謙一・服部 義和・宇佐美 二郎・水谷 瑞希
32	立ち入り防止柵被災時のロードキル対策	金子 武史
33	「連続講座：野生動物を知る」の取り組み	岡本 卓也・池田 敬・森部 純嗣・白川 拓巳・國永 尚稔・浅野 玄・鈴木 正嗣

34	科学コミュニケーター養成手法を用いた野生動物管理のための対話フレームの検討	早岡 英介・神宮 翔真・武 正憲
35	野生動物管理における作業者の安全衛生上の課題	竹田 努・小寺 祐二
36	長野県小諸市の野生動物マネジメントシステムと大学との協働	南 正人・竹下 毅
37	大学生による野生動物マネジメントへの参与の可能性	高橋 優子
38	日本においてスポーツハンティングを始めることを阻害している要因とは何か？	大塚 伊織
39	「趣味」から「生活の糧」へ：観光産業による狩猟関連収入増加の可能性	北野 真帆・内藤 直樹
40	森里川海とのつきあい方の学習プロセスの再構築による自然資源利用の持続性の実現	桜庭 俊太
41	河川プールからみた自然資源の商業的活用方法の事例について	田代 優秋
42	伊都キャンパス周辺におけるマダニ及びマダニが媒介する人畜共通感染症に関する調査	宋 閻徳嘉・芦塚 由紀・小林 孝行・安田 章人・細谷 忠嗣・西村直人・錦谷 まりこ
43	1915-1945年の毛皮産業による移入動物と在来種の転地飼育	宇仁 義和
44	動物園における屠体給餌に対する来場者の反応	御田 成顕・細谷 忠嗣・太田 徹志・大淵 希郷・伴 和幸・田川 哲・西村 直人・楠戸 建・雷 陽・三木 望・穆 云妹・白新田 佳代子・宋 閻徳嘉
45	地域における獣害問題と動物園の動物福祉問題をつなぐ新たな実践活動	細谷 忠嗣・伴 和幸・大淵 希郷・西村 直人・田川 哲
46	近世農書に記載されるカラスによる農業被害および利用方法	許 開軒
47	河川におけるカワウの摂餌環境選択	新海 佑太・淀 太我・吉岡 基
48	新潟県で繁殖するコアジサシへの人間活動の影響～予報	Chamitha De Alwis・山本 麻希
49	北海道におけるオオタカの人工巣設置とセンサーカメラによる記録事例	石塚 正仁・矢萩 樹・嘉藤 慎譲
50	コウノトリ学習における副読本の利用状況	本田 裕子

	について－兵庫県豊岡市のふるさと学習を事例に	
51	「ヒアリ」を知っていますか？ 外来種普及啓発のためのプログラムデザイン	諏訪部 真友子・吉村 正志・小笠原 昌子・池田 貴子・Evan ECONOMO
52	セイヨウオオマルハナバチの活動時間帯と気温の関連	村林 宏・ゴンボジャブ ツェレンハンド・西田 夏菜・藤村 未央
53	蜘蛛網を用いた広葉樹植林地の虫害予報	田島 菜々子・内海 俊介・中村 誠宏・竹田 努
54	登山者の知識が高山植物の貨幣価値決定に与える影響 -白山国立公園における高山植物保全を事例として	寺田 潤哉・敷田 麻実

問い合わせ： 24awhs@gmail.com (大会事務局)